

渡辺 博 ひろし

市政報告

仙台市議会 〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7の1
TEL 261-1111

自宅 〒983-0841 仙台市宮城野区原町二丁目1の35
TEL 293-2313 FAX 792-9061

公式ホームページ

渡辺ひろし

検索

<http://hiroshidesu.net/>

ごあいさつ

仙台市議会議員

渡辺 博

平成30年第一回定例会、第二回定例会そして第三回定例会、第四回定例会そして令和元年第一回定例会の質疑質問をまとめて御報告させていただきます。これで此の四年の任期中、全定例会16回本会議で登壇し、市長に対して質疑を行うことが出来ました。市長選挙に出てから市政に復帰して八年、二期32回の定例会連続登壇は議会では珍しい記録となりました。

この一年余りは、新しい市役所庁舎議会棟整備調査特別委員長として精力的に取り組んで参りました。市長からの諮問に対しても、各党派所属議員の全員の意見を頂けるよう意を用い議会全体の意見として取りまとめ、答申することが出来たと考えております。

議員活動の本分である政務調査活動も順調に進めることが出来ました。私の議員活動の基本である、初心を常に意識いたしました。思い込み偏見を排除しつつ仙台市および市民が抱える課題を洗い出すことに専心いたしました。更に当選期数の優位性を生かしつつ、一方常に新しい知識を求め研修に励みその成果を市政運営に生かすよう努め、市政に反映して参りました。

又出来る限り視察の機会を作り他都市に出かけ先進的な取り組みについて調査を実施しました。正に百聞は一見に如かず、でありました。他都市の現場に足を運び現実を目の当たりにし、表に出にくい失敗例なども担当職員との面談を通して確認することに務めて参りました。

全国に散らばる政令市を始めとした多くの都市を訪問し、担当者からのヒアリングをすることは極めて重要であります。公表し難い政策の落とし穴を発見し、同じ過ちをせぬよう注意することにより仙台市の市政運営に活かすことが出来たと考えます。

政務調査を存分にかつ効果的に行うことにより、その成果を議会での議論に生かし瑕疵のない政策実現に繋げることに今後とも力を尽くします。

今回は所属党派が代表質疑を通して市政課題を質したものの、加えて私が課題と思って取り組んでいるものの一部ですが、テーマを絞って掲載いたしました。紙面の都合で全てを詳らかに掲載できませんが、詳しくは、仙台市議会ホームページからご覧いただけます。会議録のページから質問者 **渡辺博** で検索して頂きますと議事録、議会録画で質疑応答の具体的なやり取りをご覧いただけますのでご案内申し上げます。

今後とも、仙台市民の福利の向上、安全安心の確保に向けて更に力を入れて取り組んで参ります。引き続きご意見、ご提案を賜りますようお願い致します。(令和元年6月)

以下、URLで閲覧いただけます。

- ① 仙台市議会 <http://www.gikai.city.sendai.jp/>
- ② 会議録 <http://www.city.sendai.miyagi.dbsr.jp/index.php/>
- ③ 質問者 **渡辺博**

プロフィール

昭和62年4月 初当選 現在8期

仙台市立宮城野中学校
宮城県仙台第一高等学校
東北大工学部卒業

仙台市議会

会派自由民主党

仙台市青葉区国分町 3-7-1 仙台市議会内
☎ 022-214-8716 Fax 022-711-5687
仙台市議会 HP ⇒ <http://www.gikai.city.sendai.jp/>

会長 挨拶

議会会派所属 渡辺博議員(宮城野区)の仙台市議会市政報告が発行されるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

渡辺博議員は仙台市議会のベテラン議員としてご活躍中でございます。今年度も年四回の定例会全てに登壇され、仙台市長に新政策の提言そして必要な既存政策の強化を訴えて来られました。又市民サービスを専らの使命とする公僕としての市職員のあり方について時には厳しく時には励ましながら市民サービスの向上に務めて来られました。この二年は新しい仙台市役所庁舎議会棟整備調査特別委員長として議会の意見をまとめる重要な役を務められました。

最大党派の議会自由民主党会派は、議会内での最大の政策提言集団でもあります。多士済々の議員の中にあつて決して偉ぶることなく、決して驕らず真摯に会派議員の意見に耳を傾けておられます。会派にあつても、議会にあつても大事な役目を果たしておられる渡辺博議員に今後ともご意見ご要望をお寄せ頂きますようお願い致します。

会長 鈴木 勇治

仙台市議会 自由民主党会派(21人)

会長	鈴木 勇治	西澤 啓文
幹事長	橋本 啓一	野田 讓
政調会長	跡部 薫	高橋 次男
幹事長代理	加藤 和彦	庄司 俊充
政調会長代理	やしろ 美香	岡部 恒司
会計兼政調会長代理	菊地 崇良	斎藤 範夫
幹事	佐々木 心	松本 由男
	渡辺 博	菅原 正和
	柿沼 敏万	わたなべ 拓
	赤間 次彦	高橋 卓誠
	佐藤 正昭	

会派基本政策

市政推進のための基本的な政策をもとに仙台市長に提言するとともに、年4回の定例会、毎月開かれる常任委員会での質疑を通じ政策の実現に努めています。

I 市政に対する基本認識

今日、仙台市を取り巻く状況は、かつてないほどの厳しさに直面しています。少子高齢化の進展、目前に迫りくる人口減少の時代に加え、これまでにない猛暑や豪雨、地震などの自然災害の数々。こうした困難な時代において、仙台市政には大きな決意と実行力が問われています。

私たちは、愛する仙台の未来にわたる持続的な発展の実現とともに、市民一人ひとりが住まうことの「誇り」を実感できるまちづくりを目指していくことが求められていると考えます。

このような視点に立ち、私ども自由民主党は取り組むべき重点課題として次の6点を掲げます。

- 1 地域経済の活性化と経済政策の推進
- 2 市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進
- 3 全世代にわたる社会保障の充実
- 4 確かな教育の確立と次世代育成策の推進
- 5 未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり
- 6 責任ある都市経営と財政基盤の確立

これら6つの重点課題に対し、以下に掲げる市政推進上の基本的な政策を展開します。

私ども、仙台市議会の最大会派である自由民主党は、その責任を自覚しながら市政の諸課題に対し真摯に向き合い、誠心誠意取り組んでまいります。

II 市政推進上の基本的な政策

1 地域経済の活性化と経済政策の推進

- 経済力は市民の生活や福祉、まちの魅力と活力の向上など、あらゆる都市の活動を支えるための基盤です。
- 地場産業・中小企業の活性化はもちろんのこと、東北放射光施設の立地決定などのチャンスを最大限に生かす取り組みや、域外からの投資を呼び込む仕掛けづくりなど、地域経済政策をこれまで以上に加速させることで、力強い雇用と消費を実現し、経済の好循環をつくり上げます。

主な取り組み

- (1)産学官連携等による地場産業・ものづくり産業の支援
- (2)東北放射光施設の立地や国際リニアコライダーの誘致によるイノベーション都市・仙台の実現
- (3)域外からの投資を呼び込む中枢中核都市としての機能強化
- (4)魅力と賑わいにあふれる商店街づくりと、定禅寺通り、仙台駅前再開発をはじめとする中心部の再生
- (5)仙台の魅力発信と東北の交流人口のさらなる拡大
- (6)付加価値の高い都市型農業づくり

2 市民の安全・安心の確立を目指す施策の推進

- 自然災害や犯罪など、様々な脅威から市民の生命と財産、生活の営みを守ることが、市政の責任です。
- 未曾有の大震災からの復興を完遂するとともに、防災・減災に戦略的に取り組む強靱な都市づくりを進めます。また、防犯対策や交通安全、空き家対策などに取り組み、安全・安心な暮らしを実現します。

主な取り組み

- (1)復興事業の完遂に向けた復興交付金、東北復興観光対策交付金等の財源確保
- (2)大震災の経験の未来への伝承と防災環境都市の構築
- (3)大規模災害への備えと強靱な都市づくりの推進
- (4)国民保護計画に基づく市民の生命と財産の保護の強化
- (5)防犯、交通安全、空き家対策など市民の安全・安心の充実

3 全世代にわたる社会保障の充実

- 少子高齢化が急激に進む中、多くの市民が不安を抱えている「子育て」と「介護」の問題を解決することが不可欠です。
- 良好な子育て環境づくりを進めると同時に、高齢者福祉の充実にも取り組むなど、あらゆる世代が安心して暮らし、活躍することのできる「全世代型社会保障」を目指します。
- 国が進める幼児教育の無償化に着実に対応し、未就学児の健やかな学びと、安心して子育てできる環境の整備を目指します。

主な取り組み

- (1)待機児童解消に向けた保育の受け皿の環境整備
- (2)保育の人材不足や質の確保の取り組みの充実
- (3)幼児教育無償化スタートに向けた環境整備と制度の丁寧な説明
- (4)「のびすく」や児童館の充実など地域子育て支援の強化
- (5)学習・生活サポートなど子どもの貧困対策の推進
- (6)介護サービス基盤の整備と地域での支え合いの充実
- (7)女性の健康保持のための事業等の充実
- (8)障害者の生活を支援する体制づくりと障害理解の促進
- (9)医療や救急体制の充実など市民の健康を守る体制づくり

4 確かな教育を提供します

- 変化の激しい社会経済状況の中、子どもたちがたくましく生きて行くことができる力を育むことの重要性が一層増えています。
- 学力向上に向けた取り組みや良好な教育環境の整備を進めるとともに、いじめ問題への対応、特別支援教育の推進などの教育を取り巻く諸課題にも的確に対応し、確かな教育の提供を進めてまいります。

主な取り組み

- (1)市立小中学校へのエアコン設置など良好な教育環境づくり
- (2)指導手法や指導体制の充実など学力向上策の推進
- (3)幼保小連携の促進による未就学児接続への取り組み
- (4)いじめ問題の根絶に向けた取り組みの強化
- (5)特別支援教育の推進や不登校対策の充実
- (6)社会教育施設の機能強化などリカレント教育の充実

5 未来に向けて魅力ある街、まち・都市づくり

- 仙台が未来に向けて輝き続けるためには、都市や地域の持つ力を最大限に発揮することのできる環境づくりが重要な鍵となります。
- 「杜の都」の環境や文化に一層磨きを掛けるとともに、都市インフラの充実に取り組んでまいります。また、地域課題の解決に自ら取り組む活力ある元気な地域づくりを進めます。

主な取り組み

- (1)「杜の都」の環境保全と緑あふれるまちづくりの推進
- (2)伊達政宗公の歴史・伊達文化を活かした都市の魅力づくり
- (3)暮らしに潤いをもたらす芸術や文化の振興
- (4)きめ細かな地域づくりの取り組みへの支援強化
- (5)道路や交通など活力を支える都市インフラの充実
- (6)本庁舎の建て替えに向けた課題整理
- (7)文化の振興、拠点となる音楽ホール早期建設

6 責任ある都市経営と財政基盤の確立

- 少子高齢化・人口減少時代が迫る中において、持続的に市政の課題に対応するためには、時代の変化を的確に捉えた将来ビジョンとして、議会、市民等と連携しながら総合計画の策定作業を推進し、併せて責任ある都市経営と強固な財政基盤を確立することが不可欠です。
- 財政規律を維持する一方、税収増につながる長期ビジョンを持つ事業等に積極的に予算配分するなど、戦略的視点を持ちながら進めてまいります。
- また、国に対しても、本市の復興を踏まえた実情や基金残高の状況など、厳しい財政状況をしっかりと伝え、財源の確保に努めます。国からの税源移譲や課税自主権の強化など、地方分権の推進を主張してきたこれまでの本市の方針を堅持します。

主な取り組み

- (1)人口減少社会の課題に的確に対応する総合計画の策定と、将来に責任を持つ、持続可能な財政運営の推進
- (2)事業の厳選化や民間活力の活用などを通じた財政健全化
- (3)徴収体制の強化による市税、国民健康保険料等の収納率向上
- (4)公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化等の推進
- (5)ICT、AI、RPAなど先端技術を活用した業務改革
- (6)中枢中核都市の指定獲得と、圏域強化に向けた広域連携の促進

仙台市議会 定例会

一般質問 特別委員会質問



2018年 第1回定例会(平成30年2月13日~3月14日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 本市庁内関係部署との連携強化による安全安心の確保を
- 防犯カメラの設置補助制度の拡充を望む
- (仮称)中心部救急出張所の一刻も早い運用開始を
- 本市の経済振興の大きなエンジンと期待されるIT産業のさらなる振興を図れ
- 妊産婦ケア・切れ目ない育児支援等で子育て環境日本一を
- 政府与党との信頼関係構築への市長の覚悟と取り組み

会派代表質疑

東北市長会等における都市長のリーダーシップ

- 問** 東北市長会等の会長職を巡る動向では、市長の姿勢、リーダーシップが見えない。会長職を担う意気込みがあるなら本市の役割等をしっかりと主張すべき。
- 答** 東北地方は各自治体だけでは解決困難な課題があり、本市は東北のエンジンとしての役割が一層求められている。引き続き東北各市と連携し、東北・宮城の発展に力を尽くしたい。

保護者や地域の協力を得ながら取り組むいじめ防止対策

- 問** いじめ防止に向け、学校・地域・家庭がどうあるべきか、はっきりとした方針を打ち出すべき。
- 答** 学校のみならず家庭、地域ともにいじめを許さないという意識を共有し、連携して取り組むことが重要。社会全体で意識を醸成し行動できるよう努力していく。

その他の主な質疑項目

- 知事と連携・協力し課題解決を
- 音楽ホールは財政負担の在り方を含め長期的な視点で計画を
- 35人以下学級における教員の質の確保と学校現場混乱への懸念
- 放課後等学習支援事業の目的 ●待機児童解消に向けた取り組み
- 子ども食堂助成の今後の事業展開 ●民泊への規制と交流人口拡大
- 勾当台公園の集客力を定禅寺通の活性化につなげる取り組みを
- 世界防災フォーラムは市民側の目線で開催を
- 東北放射光施設計画への支援
- 客引きを規制する実効性の高い条例を制定すべき
- 区役所の窓口サービス向上 ●アイススケート競技への支援を

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 地域と学校の連携を図る地域連携担当教員は重要な役割を果たすもの。できるだけ専門化を図り、地域に足を運べる環境づくりを。
- 児童・生徒の健全育成は、教育委員会を市長部局や企業局が応援し本市全体で取り組み
- 民泊制度は、市民の安全・安心を守ることを第一に、県警等関係機関と連携を

2018年 第2回定例会(平成30年6月7日~6月22日)

☆渡辺ひろし一般質問

- (仮称)自転車の安全利用に関する条例が有効に機能するためには、市民の理解と協力が不可欠。特に若い世代への啓発が必要であり、学校教育でも取り組むべき。
- 学ぶ志を持つ多くの市民に応えるよう、図書館の活性化を
- 市政と政府の関係の重要性○副市長二人体制の活用

会派代表質疑

災害救助法改正による救助実施市の指定について

- 問** 災害救助法の改正が実現したが、救助実施市の指定を受けるためには県との事前協議や合意が必要になる。一刻も早く知事との協議を開始し、しっかりと調整を図るべきと考えるが市長に伺う。
- 答** 本市が救助実施市になることで県全体の被災者に対する救助が円滑に進んでいくことを、私が直接知事に説明し、理解が得られるよう全力を尽くしていきたい。

いじめ防止条例と35以下学級について

- 問** いじめ防止条例の現時点での検討状況と今後のスケジュールについて伺う。また、35人以下学級の効果について伺う。
- 答** 条例で定めるべき項目や実効性を持たせる規定の在り方など具体的な検討を進めている。7月中に骨子案を示し、議会や市民と議論を深めていきたい。35人以下学級は、教員が子どもたち一人一人に丁寧に触れ合うことによって、学習指導や生徒指導がより充実し、教員の多忙化の改善にも資すると考える。引き続き、この事業が円滑に進むよう力を尽くしていきたい。

その他の主な質疑項目

- 「稼ぐ力」を強化する新たな経済プランの策定について
- 東北連携と東北放射光施設支援
- 市役所本庁舎建て替えを契機とした職員の働き方改革を
- 青葉山公園(仮称)公園センター整備における歴史性への配慮
- 海岸公園パークゴルフ場整備推進 ●地域スポーツ活動継続への支援
- 幼児教育無償化と発達障害や配慮を要する未就学児への対応を

2018年 第3回定例会(平成30年9月4日~10月5日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 無縁故者納骨堂の遺骨の安置期間見直し、縁故者調査実施
- 地域住民等も加えた総合的な商店街活性化の取り組みを
- 国・県と連携した河川管理により市民の安全確保を
- 「空き地における雑草の除去に関する条例」の実効性ある運用と効果的な見直し
- 切れ目の無い子育て支援
- 新たな総合計画では、国際的目標であり都市経営の指針として重要なSDGsを意識して策定すべき

会派代表質疑

経済成長戦略2023と交流人口ビジネス活性化戦略

- 問** 2つの経済戦略は今後の本市の財源涵養を図る上で大変重要だが、総花的で、誰をターゲットにし、どこに力を結集するのかが見えない。市長は、仙台の最大の魅力を何と捉え、戦略骨子記載のプロジェクトをどのように地域で展開していくつもりなのか伺う。
- 答** 経済分野における本市の強みは、学術・研究機関やICT企業の集積、放射光施設の立地にあり、交流人口拡大に当たっては、体験型観光の担い手である地域の人材が魅力だ。NPOや市民とも一体となり、東北各地との連携も強めながら、本市の特性を活かしてプロジェクトを展開していく。

学校へのエアコン設置について

- 問** 児童生徒のより良い学習環境の整備に向けて、普通教室等へのエアコン設置に踏み切るべきだ。十分な財源の確保を目指し、今こそしっかり取り組む必要があるが、市長の決意を伺う。
- 答** 学校の暑さ対策の必要性は論を待たない。事業手法や整備期間など精査すべき要素もあり、他自治体と連携しながら国等に対し財政支援を働き掛け予算確保に努める。

その他の主な質疑項目

- 市長就任2年目を迎えた所感
- 平成29年度決算に対する認識と今後の見通し
- いじめ防止条例について ●西日本豪雨を踏まえた取り組み
- 自転車の安全利用に向けた決意 ●本庁舎建て替えと老朽化対策
- 次期総合計画策定に向けた市長の課題認識と目指す都市像

☆決算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- せんだい助産師サロンの充実(産後の母親の不安解消)
- 命をつなぐ「せんだい妊娠ほっとライン」の重要性
- 産後ケアの利用手続き簡素化
- 食品衛生協会の重要性と支援
- 風疹など感染症予防のための万全な対策
- パネルの廃棄など太陽光発電事業の諸課題と対策
- 仙台市地域防災リーダーと防災タウンページの活用促進

2018年 第4回定例会(平成30年12月6日~12月21日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 許認可事務の適正な執行に不断の改善と職員の能力向上を
- 安全安心の確保に向けた屋外広告物の適正管理と市民協働
- 自転車利用時のヘルメット着用と保険加入の促進
- 子ども・若者育成支援推進法活用と子ども・若者計画策定
- 国旗掲揚の励行とルール策定

会派代表質疑

市立学校へのエアコン設置は確実なスケジュール管理を

問 市立学校へのエアコン設置は、設置箇所が多数に上り、平成31年夏までの完了に向け確実なスケジュール管理が必要。工事期間が限られ、平日に教室内の工事も発生し得る。早期整備に向けた今後の進め方、見通しを伺う。

答 設置工事については、複数の学校をグループ化する等の工夫により、早急かつ効率的な発注を行う。また、学校とも十分協議し、教育活動への影響を最小限に抑え、安全にも配慮しながら工事が円滑に進むよう検討する。

客引き行為等の禁止に関する条例の実効性の確保

問 条例の実効性を確保するためには、本市が十分な体制を整備し、責任を持ってパトロールや取り締まりを行うことが必要。今後の体制整備や禁止区域内の町内会等との協力の在り方、警察との連携について伺う。

答 警察官OBの採用を県警と協議しており、立ち入り調査の積極的な実施等、県警と連携を密にしながら取り締まりを行っていく。また、禁止区域内の町内会等と連携した継続的な啓発活動は大変重要。ご協力いただく内容は町内会等と丁寧に協議を行い、その意向を踏まえたものにしていきたい。

その他の主な質疑項目

- 災害救助法改正による権限移譲
- いじめ防止条例
- 仙台版奨学金返還支援事業
- 作並小学校統合に係る保護者や地域との話し合いの状況等
- 県の障がい者医療費助成制度の対象者拡充を踏まえた本市の対応

2019年 第1回定例会(平成31年2月7日~3月12日)

☆渡辺ひろし一般質問

- いじめによる被害者が生まれないことを最終目的とし、あらゆる手段と視点によりいじめの早期発見・対策を
- 補助制度の手続きは利用者の立場から柔軟な見直しを
- 自転車安全利用に関しての児童生徒への教育・啓発強化
- 道路照明灯の電力契約の不適切処理に対する市民の怒り
- 安全・安心な生鮮食品の供給に不可欠な中央卸売市場買参人^{※1}の団体の維持・基盤強化

※1 卸売市場において、開設者(本市中央卸売市場では仙台市)の承認を受け、卸売業者から競り等により直接品物を買うことができる業者のこと。売買参加者ともいう。

会派代表質疑

ガス事業民営化へ向け具体的な行動を

問 ガス事業民営化の目的は市民利益の最大化だ。財務状況や小売自由化後の事業環境の変化を見ると、民営化の判断をする時期は来ている。具体的な行動を求めます。

答 首都圏や関西圏では小売自由化を契機とした新たなサービスが提供されるなど、周辺環境が整いつつある。本市においても、市民サービス向上や新たな事業展開による地域経済活性化などが図られるべきであり、早期の民営化が望ましいことから、新年度には公募再開に向け具体的な検討を進める。

道路照明灯の不適切事務処理の責任と再発防止策

問 道路照明灯の不適切事務処理により市民の信頼を大きく損ねる事態となっているが、市長としての責任はどう表すのか伺う。また、問題の全容説明と再発防止策の検討が何より重要であるが、どのように考えているのか伺う。

答 高橋副市長をトップとして、当時の担当職員等からの聞き取りや各区の事務手続きの検証を行い、その結果を踏まえ責任のありようについて判断していく。また、新たな台帳の整備・管理や、手順書の作成による履行確認など、適切な事務の執行を徹底していく。

その他の主な質疑項目

- 都心回遊性向上と建築物の更新
- 将来の交通体系と次期交通プラン
- 本市財政運営のビジョンと展望
- 音楽ホール の立地と基本構想
- 農業施策および商店街活性化策
- スポーツを通じた集客促進策
- いじめ防止条例の保護者の責務
- 児童相談所の機能と体制の強化

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 指定管理者の人材確保と現場意見の市政運営への反映
- 安全安心の確保と充実に向け、国交省との連携・人事交流を
- ごみ集積所と不法投棄の対策
- いじめ担当人材の小学校への早期配置を求める
- いじめの定義など、いじめ防止条例は改善の余地あり。不断の見直しを求める。

2019年 第2回定例会(令和元年6月7日~6月24日)

会派代表質疑

質問者: 渡辺ひろし

道路照明灯の電力契約における不適切事務処理の責任

問 過払い金の財源は貴重な市税であり、市民の納得いく対応が求められる。責任の在り方をどの時点で明らかにするのか、市長に伺う。

答 適正に取り扱うべき公金の支払いに不適切な事務処理があったことは、市民の信頼を著しく損ねるものであり、大変重く受け止めている。東北電力との協議が整い次第、その結果を踏まえて責任のありようも判断し報告する。

施行後の条例についても実効性の点検を

問 いじめ防止条例が施工されて2カ月。教職員や市民に浸透しなければ意味がない。この間、市長が行った具体的な施策と、今後の展開に向けた認識を伺う。

答 4月の合同校長会で、校長が教職員の意識改革を図り、いじめに適切に対応できるよう直接伝えたほか、市政だよりや啓発チラシなどで市民周知に努めている。今後、各般からの意見も生かし、より効果的に施策を進めていく。

問 自転車の安全利用に関する条例は市民に浸透しているのか。今後の取り組みについて伺う。

答 街頭啓発やラジオ広報、イベント等により、保険加入とヘルメット着用の周知に努め、自転車安全利用の一層の意識高揚を図る。

その他の主な質疑項目

- 住宅用火災警報器の設置適合率
- 水道事業の維持に全力を傾けよ
- 新市庁舎建設と音楽ホール整備
- 公正取引委員会の指導への対応
- 地域交通での敬老乗車証利用



これからの
ふるさと
仙台のために

2015.8.31 議員章交付

初心忘るべからず

是非の初心、時々の初心、老後の初心 「花鏡」